

■ 会社概要

社名	メタウォーターテック株式会社
本社所在地	東京都千代田区神田須田町一丁目25番地 JR神田万世橋ビル
代表者	代表取締役社長：草野 二男
資本金	50,000,000円
株主	メタウォーター株式会社(100%出資)
設立	2014年9月1日
決算期	毎年3月31日
事業内容	上下水道・廃棄物処理施設の設計・施工・保守・ 点検サービス・運転維持管理等



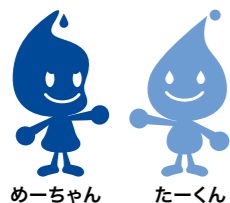
■ 組織図

- 東日本統括部
- 日野統括部
- 中日本統括部
- 西日本統括部
- 維持管理サービス部
- グループ採用センター
- 設備運転員訓練センター
- グループ研修センター
- 共通部品センター
- ドキュメントセンター
- シェアドサービス部
- 管理本部

METAWATER

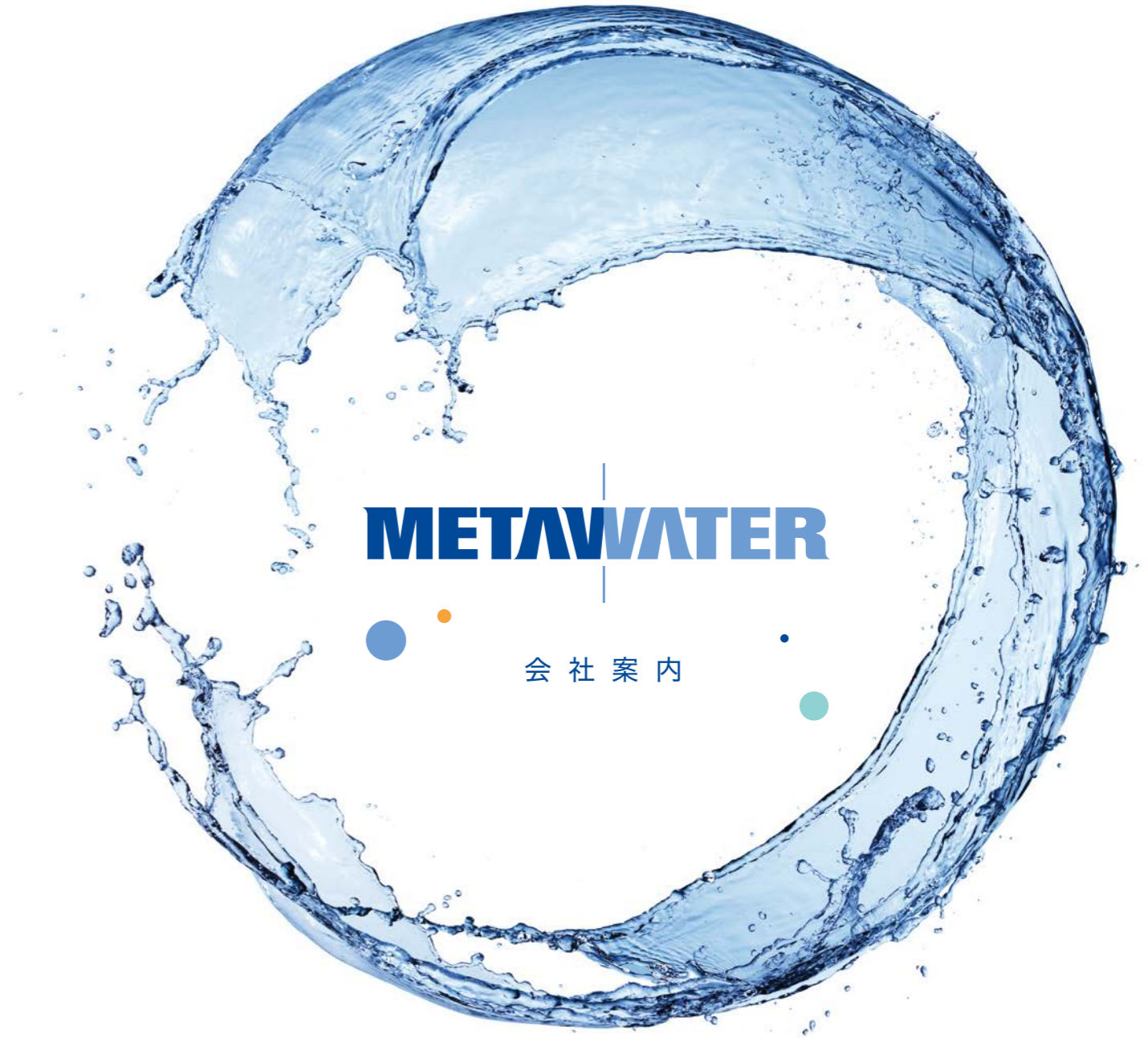
METAWATER(メタウォーター)の“META”は接頭語で「超越」「変化」を意味します。
かけがえのない資源である「水」を次世代に引き継ぐため、進化しつづける企業でありたいという
思いが込められています。

ロゴマーク中央の線は、メタウォーターの果たすべき役割や先進的な技術・製品を象徴しています。
また、線をはさんだ2色のブルーは、左から右へ水が浄化・再生される様子を表しています。



コーポレートキャラクター

メタウォーターの企業活動のシンボルです。
自然のままの水「めーちゃん」と浄化された水「たーくん」が仲良く成長する様子を、
環境と共生し成長していくメタウォーターの姿に重ねています。



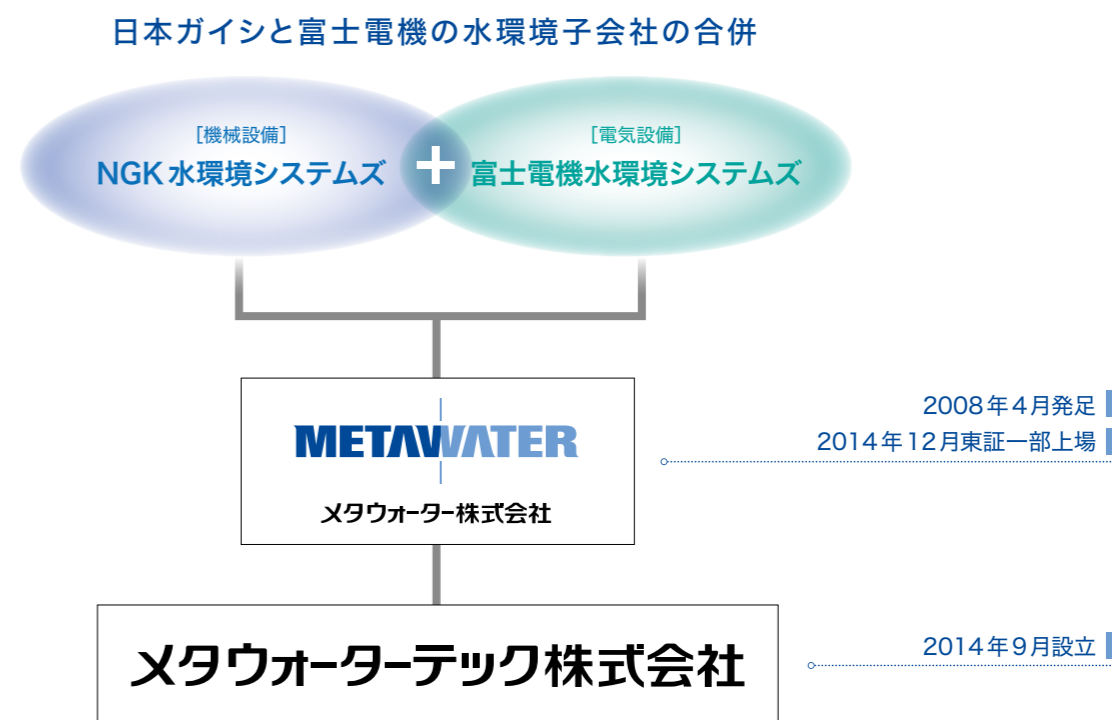
メタウォーターテック株式会社

私たちは安心・安全・安定な「水・環境」の継続に
メタウォーターグループ企業として貢献し続けます。

上下水道は人々の生活や産業になくてはならないライフラインです。
自治体の財政難や技術者不足などの背景により官民連携が拡大する中、安心・安全・安定な「水・環境」を未来へ繋げるために、
当社は、メタウォーターのグループ企業として自治体、地域企業、パートナー企業、当社社員皆が「Win-Win-Win」となれるモデルを今後も継承し、メタウォーターグループの発展に貢献していきます。

メタウォーターテック株式会社
代表取締役社長 草野 二男

目次	トップメッセージ	1
	メタウォーターテックの位置付け	2
	メタウォーターグループの事業展開	3
	メタウォーターテックの職種紹介	5
	会社概要・組織図	裏表紙



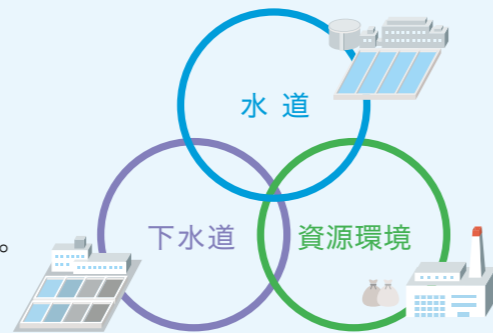
メタウォーターテック(株)は、
全国に事業展開するメタウォーター(株)・メタウォーターサービス(株)の
地域パートナーとして協働で業務を遂行します。



「水・環境インフラ」の持続のために くらしのそばに、メタウォーターグループの 技術があります

3つの活動分野

当社グループは、国内外の
水道・下水道・資源環境の分野で
持続可能なインフラの整備に貢献しています。



“持続可能な水・環境インフラ”を実現する4つの事業

運転・維持管理 (O&M) 事業

施設・設備の維持・
管理を行います



設計・建設 (EPC) 事業

施設・設備の設計・
建設を行います



公民連携 (PPP) 事業

公民連携の
事業を手掛けます



海外事業

海外での水環境の
ニーズに応えます

当社グループの強み 機械技術 + 電気技術 + 維持管理ノウハウ + ICT

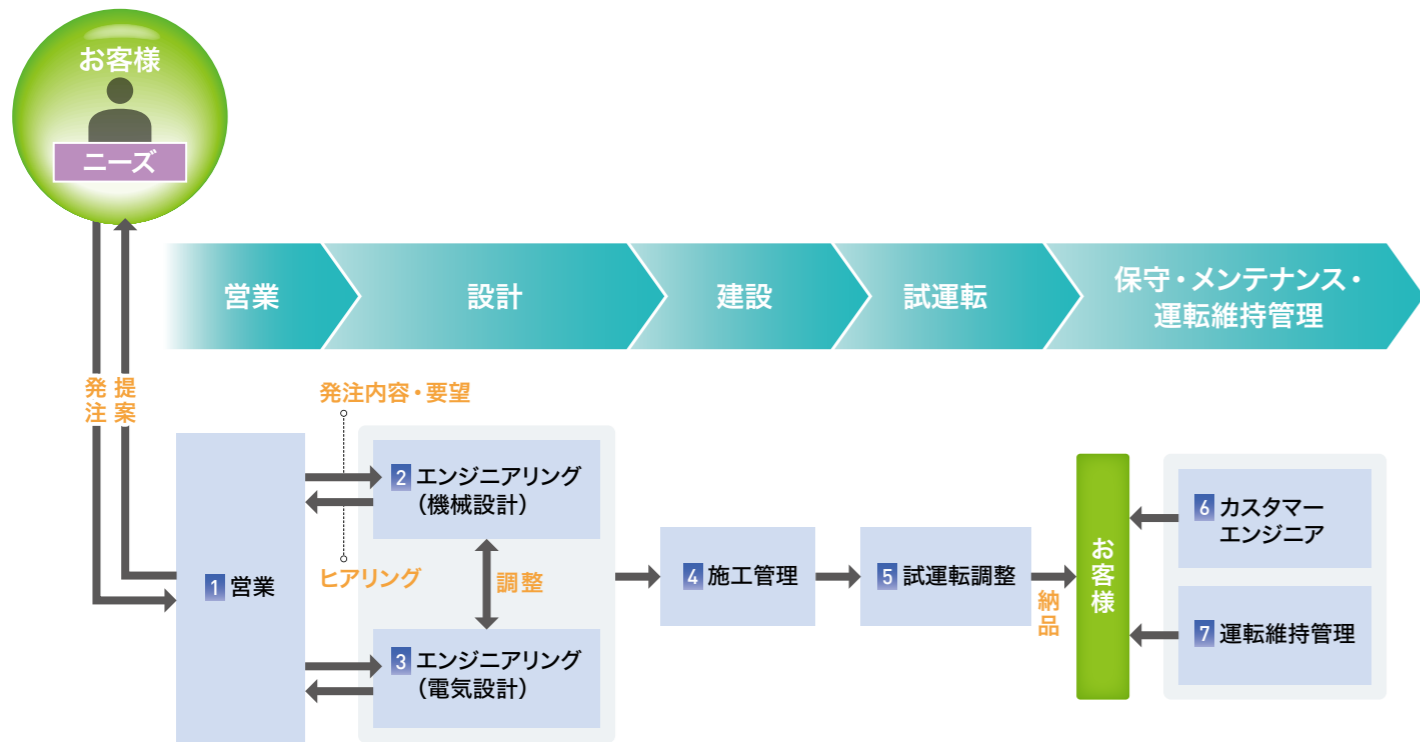
当社グループは、機械技術と電気技術を併せ持つ数少ない水・環境インフラ企業です。長年かけて培ってきた維持管理ノウハウ、先進のICTによるクラウドサービスを生かし、設計・建設から維持管理まで全体最適なソリューションを提案しています。

地域共生のための新たな雇用創出に向けて

上下水道事業の民間委託が進むなか、地域に密着した事業展開と公共インフラ事業としての高い信頼性確保を目的に、上下水道施設の保守点検・維持管理などの業務を行うメタウォーターテック株式会社を設立しました。メタウォーターグループにおける採用ニーズ、特に地方における活躍の場はこれからも増加することが予想されます。メタウォーターグループは地域出身の方々とともにくらしや産業に欠かせない水・環境インフラを支えながら、新たな雇用創出を実現し地域に貢献していきます。



※イラスト内の技術は一例です。

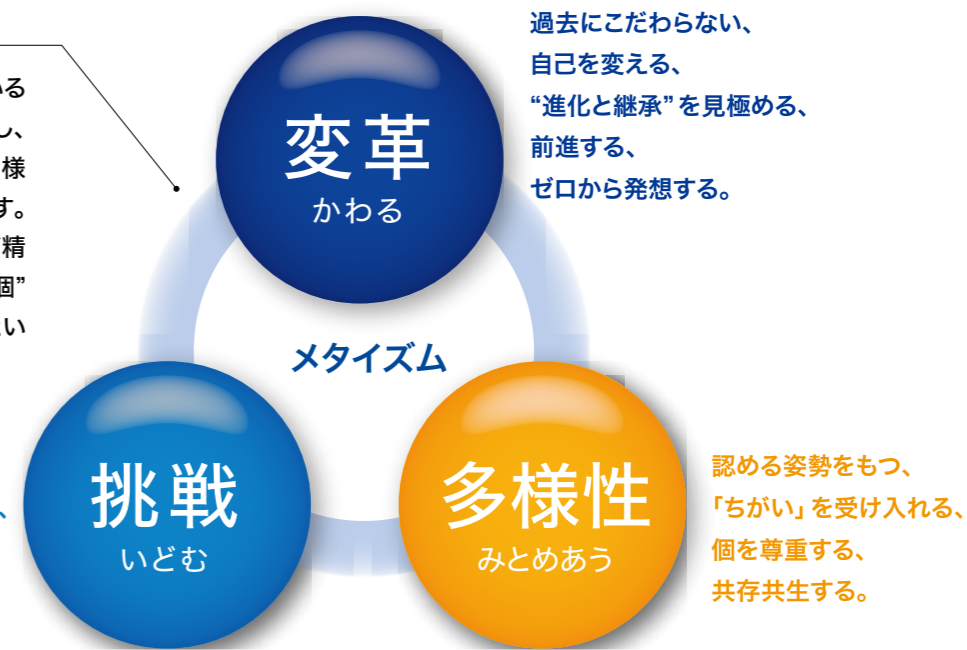


社員がいきいきと働くために

メタイズム

メタウォーターグループが重視している共通の価値観を「メタイズム」と称し、「変革(かわる)」「挑戦(いどむ)」「多様性(みとめあう)」の3つを掲げています。自ら変革を生み出していくチャレンジ精神のある“個”をサポートし、多様な“個”が協働するダイバーシティを進めるという考え方を示したものです。

失敗を恐れない、常に目標意識をもつ、継続して取り組む、トコトン突き詰める。



過去にこだわらない、自己を変える、“進化と継承”を見極める、前進する、ゼロから発想する。

認める姿勢をもつ、「ちがひ」を受け入れる、個を尊重する、共存共生する。

1 営業

主に地方自治体に対して製品や技術提案を実施し、案件を受注します。

- 顧客ニーズに沿った提案書作成
- 最適な情報提供



2 エンジニアリング (機械設計)

主に上下水道施設の機械設備設計を実施します。

- 装置設計
- 施工設計 (配管・架台・基礎)
- 2次元CAD製図
- 3次元CAD製図



5 フィールドエンジニア (電機)

プラントの各種機器の能力を最大限に発揮できるよう最適試験を行い、お客様ニーズを確認します。

- 現地試験
- 試運転



6 カスタマーエンジニア

お客様に納入した設備機器のメンテナンスや設備診断をし、プラントのライフサイクルを考慮した予防保全を提案します。

- 点検・修理・改造
- 「予防保全・設備診断」の立案・実施
- 更新の計画と立案



3 エンジニアリング (電気設計)

主に上下水道施設の電気設備設計を実施します。

- 装置設計
- 回路設計 (シーケンス設計)



4 施工管理

現場監督として現地での工事調整、取りまとめを行い、工事が円滑に進むよう管理します。

- 工事計画の策定
- 工程管理
- 安全及び品質管理



7 運転維持管理 [上下水道施設・リサイクル施設]

設備を適正に運転・管理し、施設の性能を最大限に引き出すとともに、予防保全による安定運用を実現します。

- 運転監視・巡察点検
- 設備保守・保全・修繕
- 点検立会・管理・作業補助
- 災害時等の初期対応・復旧作業



PPP (公民連携事業)

お客様対応から水道施設の余寿命管理等、水道事業に関する業務を幅広く展開しています。

- 経営および計画支援業務
- 管理支援業務
- 営業業務
- 設備建設業務
- 運転維持管理業務
- 危機管理対応業務



PPP (Public Private Partnership) とは、公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、民間の資金、技術、ノウハウ、経営能力を活用し、効率化やサービスの向上を目指すものです。